



2007年 前期

東北大学会計大学院アンケート実施報告書

Tohoku University Accounting School

東北大学会計大学院ワークショップ委員会

1. はじめに

東北大学会計大学院は 2005 年 4 月に国立大学法人では初めての会計専門職大学院として開設された。そして、今年 3 月はじめての修了生 35 名を社会に送り出すことができた。

本大学院の目的は、グローバルな視野と高度な分析能力を持つ職業会計人を養成し、将来にわたりこのような人材を社会に提供し続けていくことである。この目的を達成していくために第一義的に重要なことは、会計大学院における教育であり、私たちは、社会が職業会計人に求める能力を把握し、これを学生への教育へと反映し、同時に、現在行っている教育が学生の能力やニーズに見合っているかを常に確認しながら、より効果的な教育方法を模索していく必要があると考えている。私たちは、会計大学院における最善の教育方法・システムを求めていくための 1 つの手段として、毎セメスター終了後にアンケートを実施することとした。

過去 2 年間のアンケートは、「アンケート実施報告書」として会計大学院のホームページ (<http://www.econ.tohoku.ac.jp/~tuasad/keiji2007b.htm>) で公開している。その意図は、東北大学会計大学院への入学希望者や将来私たちが教育した学生を受け入れていただく監査法人・会計事務所・企業・官庁の方々に本会計大学院でどのような教育が行われているかを理解して頂きたいという点にある。私たち教員は、この調査報告書の公開により、東北大学会計大学院へ関心が高まり、本大学院出身の学生が高度な分析能力を持つ職業会計人として活躍できる機会が増えることを期待している。

私たちは、このアンケート調査報告書を在学生在が教員に対して発信したメッセージと捉えている。今後とも、私たちはアンケートを通じて改善すべき点を見だし、質の高い教育サービスを提供できるよう努力していきたいと考えている。アンケート結果についてご意見等をメール等でいただければ幸いである。

2007 年 10 月 12 日

東北大学会計大学院ワークショップ委員会

2. 実施方法

今回のアンケート調査報告書は、2007年度前期終了後に実施された「会計大学院の授業に関するアンケート」を集計したものである。従来、本会計大学院ではセメスターごとに、「会計大学院のカリキュラム等に関するアンケート」と「会計大学院の授業に関するアンケート」という2種類のアンケートを行い、その結果を報告書として公開してきた。

これまでの反省点として、アンケートの集計・分析に時間をとられ、タイムリーに結果を報告できなかった点をあげることができる。本会計大学院ワークショップ委員会では、この点に鑑み、前期講義終了時点で「会計大学院の授業に関するアンケート」の結果を中間報告という形で報告し、後期講義終了時点で年間を総括した報告書を公開することとした。今後とも、アンケート結果を学生・社会へ向けて迅速に公開し、会計大学院の教育の改善に役立てていきたいと考えている。なお、ワークショップ委員会は、科目毎のアンケートの集計結果（アンケート質問項目17の自由質問を含む）と自由記入欄の記載内容を担当教員に直接報告しており、これが、次年度以降の講義内容の充実に資することを期待している。

本報告は、2007年度前期の講義に関する「会計大学院の授業に関するアンケート」（巻末：付録1参照）に関するものである。アンケートは講義中に配布・回収を行い、延べ人数にして約420名の回答を得た。アンケートは無記名であり、受講生が5人以上であるすべての講義について実施した（講義担当教員の希望により受講生が5名未満の講義についてもアンケートを実施している講義も一部存在する）。

今回の報告の目的は、本会計大学院における教育の現状を学生・教員へタイムリーに報告することであり、アンケート質問項目ごとの分析は行わず、アンケートの集計結果のみを示すこととしたい。本会計大学院の教育内容・教育方法全般に関する分析については、今年度末（2008年3月）の報告書で行いたいと考えている。ただし、今回のアンケートにおいて学生から寄せられた意見の中で、会計大学院の教育全般に関わると考えられるものについては、若干のコメントを行いたい。

3. 「会計大学院の授業に関するアンケート」に関する分析

3.1. アンケートの実施状況

2007年度前期における開講講義数は43科目であり、そのうち履修者が5名以上の講義（23科目）と科目担当教員がアンケートを希望した講義（1科目）についてアンケートが実施された。開講科目と履修者・アンケート回収数をまとめると次のようになる。

授業科目名	履修者数	回収数
連結財務諸表	17	17
財務会計1	64	45
財務会計2	37	33
上級財務会計	24	21
簿記1	28	27
管理会計	25	21
原価計算1	72	33
原価計算3	39	21
監査	20	17
上級監査	6	5
監査計画の編成法2	18	18
経営管理	15	15
経営戦略	5	4
企業ファイナンスの基礎	11	2
情報システム管理	6	6
証券取引行政	33	29
会社法	21	20
法人税法	35	32
上級法人税法	13	14
所得税法	24	16
事例研究(コストマネジメント)	9	9
事例研究1(情報システム管理)	4	6
事例研究2(証券取引行政)	7	5
外書講読(コストマネジメント)	5	6
合計	538	422

「履修者数」は履修登録を行った学生数であり、「回収数」は履修登録を行わず聴講している学生も含んでいる。

表1：アンケート実施科目と回収数

今回のアンケートでは、延べ履修者数538名に対して422名から回答を得た。アンケートの回収率は78.44%であり、前回（2006年度後期）と同様の回収率となっており、前年度同期（2006年度前期）の回収率36.96%と比較すると高くなっている。

なお、質問項目17は科目担当教員が独自におこなう質問であり、質問項目はすでに取得した資格に関するものなので、アンケートの集計には含めていない。

3.2. アンケートに関する基本統計量

各設問の選択肢に付与された数字は、好ましい回答ほどその値が大きくなるよう設定されているため(設問1を除く)、この数値化によって回答の平均値、中央値、最頻値の算出を行った。その結果は以下の通りである。なお、アンケート内容の詳細については付録2を参照されたい。

項目 \ 設問	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
	属性	出席	予習	復習	宿題	理解	難易度	教員準備	プレゼン	教材	評価方法	シラバス	教員評価	対試験	キャリア	資格
5	386	372	7	20	34	78	216	280	255	216	236	154	270	188	201	1
4	1	31	5	19	39	214	114	90	83	120	121	125	98	124	116	39
3	8	4	18	33	44	97	72	34	44	63	45	105	30	78	82	16
2	20	6	60	102	80	27	13	9	23	14	10	22	17	20	11	233
1	6	6	145	142	115	6	3	7	16	8	9	15	6	9	3	49
0	0	3	186	105	105	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	421	422	421	421	417	422	419	421	421	421	421	421	421	419	413	338
平均値	4.76	4.77	0.89	1.48	1.76	3.78	4.25	4.48	4.28	4.24	4.34	3.90	4.45	4.10	4.21	2.14
中央値	5.00	5.00	1.00	1.00	1.00	4.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	4.00	5.00	4.00	4.00	2.00
最頻値	5	5	0	1	1	4	5	5	5	5	5	5	5	5	5	2

表2：アンケートの基本統計量

質問項目間の相関関係をみるために次のような表を作成した。

設問	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
	属性	出席	予習	復習	宿題	理解	難易度	教員準備	プレゼン	教材	評価方法	シラバス	教員評価	対試験	キャリア	資格
1 属性	1.00															
2 出席	.04	1.00														
3 予習	.07	-.12	1.00													
4 復習	-.01	-.05	.43	1.00												
5 宿題	-.07	-.05	.32	.40	1.00											
6 理解	-.02	-.06	.09	.02	.03	1.00										
7 難易度	.12	-.07	-.03	.10	.02	.36	1.00									
8 教員準備	-.09	-.01	-.07	-.06	-.11	.36	.60	1.00								
9 プレゼン	-.15	.03	.02	-.07	-.08	.36	.49	.72	1.00							
10 教材	-.10	.02	-.04	-.03	-.08	.35	.45	.61	.63	1.00						
11 評価方法	-.11	.00	-.07	-.01	-.10	.43	.41	.58	.52	.57	1.00					
12 シラバス	.00	.00	.02	.08	.08	.33	.44	.43	.42	.47	.47	1.00				
13 教員評価	-.11	.03	-.03	.00	-.10	.45	.57	.75	.75	.64	.63	.53	1.00			
14 対試験	.09	.02	.02	.15	.01	.26	.49	.40	.34	.42	.30	.33	.44	1.00		
15 キャリア	.12	.03	-.05	.09	-.05	.24	.52	.42	.41	.38	.37	.40	.51	.57	1.00	
16 資格	.10	-.07	.11	.13	.02	.19	.12	.02	.08	.09	.09	.15	.08	.18	.05	1.00

表3：質問項目間の相関係数

上記の表については過去の報告書でも報告されている。過去の報告については、会計大学院のホームページ (<http://www.econ.tohoku.ac.jp/~tuasad/keiji2007b.htm>) を参照されたい。

4. まとめと自由記入欄に対する回答

今回のアンケートは、前年度同期（2006年度前期）のものと比較すると回収率が大幅に増加している。その意味で、今回の結果は、これまでのアンケートと比較しても、学生諸君の意見が大きく反映されているものと考えられる。私たちは、今回の結果を真摯に受け止め、本会計大学院の教育内容が充実していくよう努力していきたい。具体的には、今回の結果を会計大学院運営委員会へ報告し、本会計大学院の教育に関して議論を行うことを考えている。最後に、自由記入欄に記載された意見に関して回答を行い、本報告を終えることにする。

今回のアンケートでは、複数の学生から「教員の声が小さいので、マイクを利用していただきたい。」との要望が出された。この要望については、会計大学院運営委員会で報告し、次回はこのような要望が出されないよう、各教員が努力いただくようお願いしたいと考えている。

付録1：会計大学院の授業に関するアンケート（2007年度前期）

このアンケートは、会計大学院の授業の改善に学生諸君の意見を生かそうとするものです。結果は報告書としてとりまとめます。別紙の記入マニュアルを参考に回答して下さい。

授業科目名はマークシート用紙に記入されていますので確認下さい。

回答者属性

番号	質問	回答	備考
1	該当するものを選んでください。	(5) 公認会計士コース (4) 高度会計職業人コース (3) 経済経営学専攻 (2) 経済学部	

科目内容について

番号	質問	回答	備考
2	この講義にどのくらい出席しましたか？	(5)90%以上 (4)89-70% (3)69-50% (2)49-20% (1)20%未満	おおよその出席率で回答してください。
3	この講義の予習にどのくらいの時間をかけましたか？	(5)5時間以上 (4)4-5時間 (3)3-4時間 (2)2-3時間 (1)1-2時間 (0)1時間未満	Semesterを通じた平均時間を回答してください。
4	この講義の復習にどのくらいの時間をかけましたか？	(5)5時間以上 (4)4-5時間 (3)3-4時間 (2)2-3時間 (1)1-2時間 (0)1時間未満	宿題にかけた時間を除く時間を記入してください。
5	この講義の宿題にどのくらいの時間をかけましたか？	(5)5時間以上 (4)4-5時間 (3)3-4時間 (2)2-3時間 (1)1-2時間 (0)1時間未満	Semesterを通じた平均時間を回答してください。
6	この講義の内容をどの程度理解できたと思いますか？	(5)理解できた (4)ほぼ理解できた (3)どちらともいえない (2)あまり理解できなかった (1)理解できなかった	
7	この講義のレベルは会計大学院の講義として適切だと思いますか？	(5)適切である (4)ほぼ適切である (3)どちらともいえない (2)やや不適切である (1)不適切である	この講義が、基礎、展開、実践・応用科目(*)のどれに属しているかを考慮して回答してください。なお当該科目がどの分類に属しているかはマークシート用紙に印刷されています。
8	教員のこの講義に対する準備は十分でしたか？	(5)十分だった (4)ほぼ十分だった (3)どちらともいえない (2)やや不十分だった (1)不十分だった	
9	教員の説明や声など、授業でのプレゼンテーションは良かったですか？	(5)十分だった (4)ほぼ十分だった (3)どちらともいえない (2)やや不十分だった (1)不十分だった	板書・プロジェクター等の利用も考慮して回答してください。

番号	質問	回答	備考
10	テキスト・参考書あるいはプリント等は適切でしたか？	(5) 適切である (4) ほぼ適切である (3) どちらともいえない (2) やや不適切である (1) 不適切である	
11	この講義の成績評価の方法は適切だと思いますか？	(5) 適切である (4) ほぼ適切である (3) どちらともいえない (2) やや不適切である (1) 不適切である	シラバスに記載されている成績評価を考慮して回答してください。
12	この講義のシラバスは講義を理解する上で役に立ちましたか？	(5) 役に立った (4) まあまあ役に立った (3) どちらともいえない (2) あまり役に立たなかった (1) 役に立たなかった	講義を選択する際に役立ったかという点も考慮して回答してください。
13	総合的に見て、この講義を担当した教員をどう評価しますか？	(5) 評価できる (4) まあまあ評価できる (3) どちらともいえない (2) あまり評価できない (1) 評価できない	
14	この講義は、公認会計士試験を受験する上で役に立つと思いますか？	(5) 役立つ (4) まあまあ役に立つ (3) どちらともいえない (2) あまり役に立たない (1) 役に立たない	
15	この講義は、公認会計士になってからのキャリアにおいて役立つと思いますか？	(5) 役立つ (4) まあまあ役に立つ (3) どちらともいえない (2) あまり役に立たない (1) 役に立たない	
16	既に合格した資格試験等について教えてください。	(5) 税理士会計科目 (4) 公認会計士短答式 (3) 日商簿記1級 (2) 日商簿記2級 (1) その他	取得している資格の中で1つ（1番レベルの高いと考えられるもの）を選び回答してください。
17	講義担当教員による質問	(5) (4) (3) (2) (1)	教員がアンケートの際に行った質問に回答してください。
18	自由記入欄	自由記入欄用紙に記入	

－以上です。協力を感謝します。

付録2：アンケート集計結果（2007年度前期）

	選択項目	人数	割合
設問1 回答者属性	公認会計士コース	386	93.01%
	高度会計職業人コース	1	0.24%
	経済経営学専攻	8	1.93%
	経済学部	20	4.82%
	合計	415	100.00%
設問2	90%以上	372	88.78%
この講義にどのくらい 出席しましたか。	89-70%	31	7.40%
	69-50%	4	0.95%
	49-20%	6	1.43%
	20%未満	6	1.43%
	合計	419	100.00%
設問3	5時間以上	7	1.66%
この講義の予習にどの くらいの時間をかけま したか。	4-5時間	5	1.19%
	3-4時間	18	4.28%
	2-3時間	60	14.25%
	1-2時間	145	34.44%
	1時間未満	186	44.18%
合計	421	100.00%	
設問4	5時間以上	20	4.75%
この講義の復習にどの くらいの時間をかけま したか。	4-5時間	19	4.51%
	3-4時間	33	7.84%
	2-3時間	102	24.23%
	1-2時間	142	33.73%
	1時間未満	105	24.94%
合計	421	100.00%	
設問5	5時間以上	34	8.15%
この講義の宿題にどの くらいの時間をかけま したか。	4-5時間	39	9.35%
	3-4時間	44	10.55%
	2-3時間	80	19.18%
	1-2時間	115	27.58%
	1時間未満	105	25.18%
合計	417	100.00%	
設問6 この講義の内容をどの 程度理解できたと思 いますか。	理解できた	78	18.48%
	ほぼ理解できた	214	50.71%
	どちらともいえない	97	22.99%
	あまり理解できなかった	27	6.40%
	理解できなかった	6	1.42%
合計	422	100.00%	
設問7 この講義のレベルは会 計大学院の講義として 適切だと思いますか。	適切	216	51.67%
	ほぼ適切	114	27.27%
	どちらともいえない	72	17.22%
	やや不適切	13	3.11%
	不適切	3	0.72%
合計	418	100.00%	
設問8 教員のこの講義に対す る準備は十分でしたか。	十分	280	66.67%
	ほぼ十分	90	21.43%
	どちらともいえない	34	8.10%
	やや不十分	9	2.14%
	不十分	7	1.67%
合計	420	100.00%	

	選択項目	人数	割合
設問9 教員の説明や声など、 授業でのプレゼンテー ションは良かったです か。	十分	255	60.57%
	ほぼ十分	83	19.71%
	どちらともいえない	44	10.45%
	やや不十分	23	5.46%
	不十分	16	3.80%
合計	421	100.00%	
設問10	適切	216	51.31%
テキスト・参考書ある いはプリント等は適切 でしたか。	ほぼ適切	120	28.50%
	どちらともいえない	63	14.96%
	やや不適切	14	3.33%
	不適切	8	1.90%
合計	421	100.00%	
設問11	適切	236	56.06%
この講義の成績評価の 方法は適切だと思いま すか。	ほぼ適切	121	28.74%
	どちらともいえない	45	10.69%
	やや不適切	10	2.38%
	不適切	9	2.14%
合計	421	100.00%	
設問12	役に立った	154	36.58%
この講義のシラバスは 講義を理解する上で役 に立ちましたか。	まあまあ役に立った	125	29.69%
	どちらともいえない	105	24.94%
	あまり役に立たなかった	22	5.23%
	役に立たなかった	15	3.56%
合計	421	100.00%	
設問13	評価できる	270	64.13%
総合的に見て、この講 義を担当した教員をど う評価しますか。	まあまあ評価できる	98	23.28%
	どちらともいえない	30	7.13%
	あまり評価できない	17	4.04%
	評価できない	6	1.43%
合計	421	100.00%	
設問14	役立つ	188	44.87%
この講義は公認会計士 試験を受験する上で役 に立つと思いますか。	まあまあ役に立つ	124	29.59%
	どちらともいえない	78	18.62%
	あまり役に立たない	20	4.77%
	役に立たない	9	2.15%
合計	419	100.00%	
設問15	役立つ	201	48.67%
この講義は公認会計士 になってからのキャリ アに役立つと思いま すか。	まあまあ役に立つ	116	28.09%
	どちらともいえない	82	19.85%
	あまり役に立たない	11	2.66%
	役に立たない	3	0.73%
合計	413	100.00%	
設問16	税理士会計科目	1	0.30%
既に合格した資格試験 等について教えてくだ さい。	公認会計士短答式	39	11.54%
	日商簿記1級	16	4.73%
	日商簿記2級	233	68.93%
	日商簿記3級	49	14.50%
合計	338	100.00%	

注) 設問の文言は本来のものと若干異なります。

2007年度 東北大学会計大学院ワークショップ委員会

委員長	伊藤 健
委員	青木 雅明
委員	榎本 正博
委員	松田 康弘
委員	安田 一彦

会計大学院アンケート実施報告書 2007年度前期

2007年 10月 12日発行

編集・発行： 東北大学会計大学院ワークショップ委員会